

月刊マガラボ

Vol.05
2025.9



あなたの夏休みは？いろんな方に聞いてみました

B4



夏季休暇中は2日連続で県外へアカペラを披露しに行きました。1日目は金沢で2日目は神戸でした。2日間とも盛大に盛り上げることができました。特に2日目は大会だったので気合が入った演奏ができたと思います。もし気になった方がいれば演奏動画お見せします！

執筆：木須健太



お盆に実家へ帰省した際、地元のBARを訪れました。そこで出会ったアマレットというリキュールが印象的で、翌日すぐに購入しました。ロックでも飲みやすく、つい飲み過ぎてしまいそうなので気をつけたいと思います。

執筆：田口恋衣

M1



8月は研究システムの本格的な構築作業に集中し、実験環境の整備やアルゴリズムの実装を進めています。9月からはインターンシップへの参加や学会発表を控えており、研究成果の対外発表に向けた準備も並行して行っています。夏季期間を通じて研究活動を着実に推進中です。

執筆：寺原雄大



夏季休暇は大学のラグビー部の合宿に参加しました。M1になってまともに練習に行けていなかったのですが、久々にラグビーをすると初日で全身筋肉痛になってしまい、日頃から運動しなくちゃいけないなと実感しました。久々に体を動かしていいリフレッシュになりました。

執筆：大部寛翔

M2



夏季休暇中は、内定先企業の訪問イベントに参加するとともに、その近辺を観光してきました。実際に働くオフィスと設備を見たり、将来の同期と話したりすることで、社会人となる自覚がより一層湧いた夏でした。

執筆：江下駿人



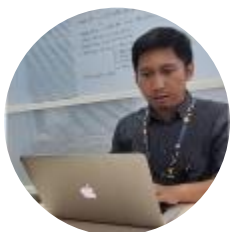
この夏は、SAGAアリーナで開催された「SAGAものすごフェスタ」に出展してきました。小さい子どもに、大きなロボットを遠隔操作で動かしてミッションをこなしてもらっていました。イベントが終わった後は疲れすぎて14時間も寝ていました。

執筆：姫城太一

D1

During holiday, I went to see a beautiful sunflower field. I also visited a small they held a festival after the Obon memorial. The festival showed lanterns and traditional dances which were interesting. really liked the festival because there were many foods to try, such as takoyaki and sweet treats. At night, I watched an amazing fireworks display that lit up the sky with brilliant colors.

執筆 : Fisilmi Azizah Rahman



During the summer holiday, I went to see one of the wonderful works of art in Japan, I think, which was the life-sized Gundam RX-93ff in Lalaport, Fukuoka. This Gundam appears in its movie, Mobile Suit Gundam. I was amazed by this thing; it was very big, with a height of 24.8 meters. Although I am not a fanatic fan of this character, this statue reminds me about my childhood. Because Gundam was one of the anime that I watched on TV every Sunday.

執筆 : MS KHAIRY

D2

I was active on my summer vacation by staying in the laboratory and going around Saga to take a video with my friends to participate in a video competition at the Indonesian embassy.

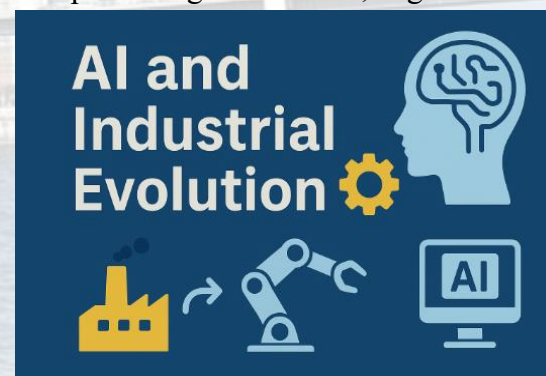
執筆 : Wendy Cahya Kurniawan

留学生コラム

AI and Industrial Evolution: Adaptive to the Ever-Changing World

Since the Industrial Revolution 1.0, humanity has faced waves of transformation that reshaped how we work and live. In the late 18th century, machines replaced manual labor, sparking fears that human workers would be replaced. However, instead, people adapted to stay relevant to the demands. As industries evolved through Industry 2.0 and 3.0, technology continued to advance from assembly lines to automation and computing. Each era carried the same fear: *"Will machines replace us?"* However, history shows that every disruption created new opportunities, demanded new skills, and shaped modern professions. Now, how do we, as students, prepare for that?

- **Keeping Up with Research Trends**
It is important to know what trends are emerging in the research world to stay relevant in the future.
- **Learn the Skills That Are in Demand**
Use free resources like FreeCodeCamp, Kaggle, and Coursera to master coding, data analysis, and AI integration relevant to your field.
- **Collaborate with AI Effectively**
Treat AI as a "second classroom" by using it for brainstorming, simulations, and research support — not just as a shortcut.
- **Think of AI as a Tool**
See AI as something that helps shape human knowledge quality, rather than having a mindset of "replacement."
- **Follow Emerging Industry Trends**
Following emerging industry trends is an important part of being goal oriented. Such trends can be tracked through conferences, open-source projects, and academic journals on topics like generative AI, cognitive robotics, and human-AI collaboration.



執筆 : Ferina Ayu Pusparani

3年生向け研究室説明会

先日、3年生向け研究室説明会がありました。
そこで、3年生にいろいろなことを聞いてみました！

Q. 研究室生活を通じて身につけたいスキルや能力は？

A. 研究がどういうものかいまいち理解できていないですが、わかりやすく、理論的に伝えるスキルは身に付けたいと思いました。

Q. 他の研究室と迷っているポイントはありますか？

A. 先生や学生の雰囲気、研究内容（アプリ開発，データサイエンス，ハードとソフト併用），コアタイムの有無，飲み会があるか

Q. 研究室に入って一番楽しみにしていることは？

A. 学会，飲み会

Q. 研究室の雰囲気を見学してどう感じましたか？

A. 賑やか

Q. 実際に研究室でやってみたいことはありますか？

A. この質問をしたのですが，研究活動自体がよくわかってないから答えにくい人が多かったです。



国際学会のすゝめ

国際学会でのプレゼンのコツは，言ってしまうえば『練習あるのみ！』です．おススメは，AIに英語を読み上げてもらってそれをマネすることです！私は，Natural Readerというサイトを使用しています．また，日ごろから英語に親しんでおくのも英語を話すハードルが下がっておススメです．国際係が週に1回ディスカッションを開催しているので，ぜひ参加してみてください！

執筆：石津七海

国際発表というと、どうしても緊張してしまいがちですが、実際にやってみると「意外となんとかなる」ものです。英語を完璧に話す必要はなく、むしろゆっくりはっきり伝える方が聴衆には理解してもらいやすいと感じます。私自身も最初の頃は原稿を丸暗記しようとして失敗したことがあります。今ではスライドの要点を押さえて、自分の研究を「紹介する」つもりで話すようにしています。大切なのは正確さよりも「わかりやすさ」であり、聴衆が研究の意義をイメージできることです。

また、質疑応答も大きな壁に見えるかもしれませんが、怖がる必要はありません。わからない質問が出て「面白い視点ですね。今後の検討課題にします」って言えば全然OKと思います。むしろ国際発表の場って、いろんな人が自分の研究に関心を持って質問してくれる貴重な機会なんですよ。だから「試されてる」と思うより「ディスカッションを楽しむ」くらいの気持ちで臨むといいです。私自身も毎回ドキドキしますが、終わった後はいつも「やってよかったな」って思えるので、ぜひ気楽に挑戦してみてください。

執筆：李 津穎

編集後記



こんにちは、広報係の姫城です。
今回の背景画像は江下駿人さんから韓国のシンポジウムに行った時の画像をいただきました！
韓国！人生で1度は行きたいですね！